



神崎町議会議長
成毛 績

震災の復旧から

安心安全な町へ

荒廃によってである。今、日本が失いかけていて、しかし決して失ってはいけないものがある。それはどのような国難にもくじけない自立の心と将来への希望である。なぜならば、一人一人の心を取り戻すことが日本社会や経済、震災から立ち直らせる唯一の道だからだ。」とありました。

今、私に求められていることは、そこに住む住民の「心」を大切にしたりまちづくりへと行政のあり方を見直し、改革するチャンスと捉えることだ

と感じております。終わりに、昨年7月には町政発展、震災復興を担う10名の町議会議員が選出されました。議会共々信頼される町行財政を目標としてまいります。

皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに本年もよろしくお願い申し上げます。

私たちの戦いは、多くの人に勇気と感銘を与え、家族や人との絆が再確認された年でありました。

した神宿浄水場は国の補助により移転新設される見込みです。

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には希望に満ちた清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は、昨年改選後の初議会において議員各位のご推挙により議長に就任

いたしました。責任の重大さを痛感し全力で職責を全うし、町民皆さんの負託に応えるべく円滑な議会運営に努める所存です。

さて、昨年を振り返ってみますと東日本大震災、原発事故、紀伊半島豪雨など未曾有の大規模災害に遭われた一年でありました。東北地方では多くの方々が犠牲になられ、原発事故では節電や放射能汚染など不安が社会や日常生活に暗い影を落しました。

神崎町でも液状化による被害が大きく道路、水道施設などの公共施設はもとより住宅の倒壊、一部損壊などの過去に例をみない被害を被りました。

神崎大橋は半年以上通行止めが続く町の商店は大きく売り上げを落すことになりました。

明るい話題としては、日本中を沸し元気づけられたサッカー女子W杯で優勝に輝いた「なでしこジャパン」があります。最後まであきらめない彼

国は復旧復興対策、放射能除染対策、社会保障と税の一体改革に喫緊の課題として取り組んでおります。

町では、道路、水道、河川など復旧工事が着々と進められており、通行止めの神崎大橋も五月には完全復旧します。崩壊

今年「辰」には「草木が動いて伸び、整う」来年の「巳」には「草木の成長が極限に達し、種子が出来始める時期」の意味があると言います。今年、震災からの復旧復興に全力を注ぎ安心安全な町づくりに町と議会が一丸となつて取り組めます。

結びに町議会活動に対しましてよろしくご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。願ひ申し上げますとともに、皆様にとりまして良き一年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。